



六中だより

～自主・勤勉・共生～

保護者会特別号

令和4年7月15日発行

港区立六本木中学校

校長 石原 嘉人

有意義な夏休みにしてください

校長 石原 嘉人

一学期も残すところあと3日となりました。一学期間、学校の教育活動に対してご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

この一学期は教育活動をできる限りコロナ前へ戻していくことを模索し、実施してきた学期でした。感染症対策を講じながらも、4月の三者面談、5月の移動教室を計画通り実施できたことは嬉しい限りです。6月の運動会においては、昨年度実施を見送った団体種目を実施することができ、生徒たちは心地よい疲労感と共に充実感を味わってくれたと思っております。ただ、生徒座席については間隔を確保して設置する必要があったことから十分な保護者席を設けることができず、今年度も3年生の保護者のみの参観となってしまい、申し訳ありませんでした。

生徒の活動の様子を保護者の方へお見せしようと考えた運動会の YouTube による限定配信ですが、教員の撮影スキルと編集スキルは飛躍的に向上しております。1・2年生やいらっしやることのできなかつた3年生の保護者の方に運動会の様子が伝わったのであれば幸いです。

さて、もうすぐ夏休みとなり、生徒たちは学校から解放され、自分の時間を多くもつこととなります。ぜひ、自分の時間を有効に使うことができるよう見守ってください。

3年生は、自分の進路実現に向けて上級学校を訪問したり、既習事項をまとめたりする時間に多くの時間を充てるべきです。1・2年生は、学校の課題をこなすことはもちろんですが、自由に時間を使うときにしかできないことにチャレンジしてみることをお勧めします。部活動に打ち込むのもいいですし、ひたすら本を読むのもいいですね。

自由な時間＝スクリーンタイムとなってしまうことだけは避けてください。今やスマートフォンは電話ではなく、さまざまなことができるツールとなつてしまっています。便利な機器は使いこなせた方がいいに決まっていますが、全ての時間をスクリーンタイムに充てることは避けるべきです。

SNS は知らない人とつながることができるツールとして利用価値があるのですが、中学生にとってはそこに危険が潜んでいます。また、SNS による友達同士のやり取りも相手の顔が見えないことから誤解を与えたり、過激な言葉になったりすることでトラブルに発展します。適切に使うことができるよう、ご家庭でルールを決めて、そのルールを守らせてください。

久しぶりに、行動制限のかからない夏休みとなりそうですが、感染者数は依然として増え続けています。感染症対策を講じながら有意義な夏休みにしてください。



命の大切さを学ぶ教室

7月8日（金）に「命の大切さを学ぶ教室」を行い、犯罪被害者の岩瀬裕見子様のお話を伺いました。Twitterでその時の様子をつぶやいたのですが、とても140文字で表現できる内容ではありませんでした。岩瀬様は、凶悪な犯罪によってお嬢様を奪われただけでなく、判決が確定した現在も、犯罪にかかわる誹謗・中傷、冷やかに苦しめられているそうです。

講演では、生徒たちに「命の大切さを感じて欲しい。自分の命を大切にすることは、他人の命を大切にすることです。一瞬一瞬を大切に生きて欲しい。」というお話がありました。また、我々教職員に対しても「先に生きる人として命の大切さ、言葉の重みを生徒たちに教えてください。」という話がありました。心して、教育していく決意を新たにしました。講演の中で印象に残った言葉を紹介します。

自分の思いや気持ちは言葉にして伝えることが大切。その際、どのような言葉かけをするかについては、相手を思いやる気持ちや相手がどのように感じているかということを想像できる想像力が大切。

（SNSでは、）言葉や文章で人を殺せる。指先一つで人の命を奪うことができるということをしっかり理解してほしい。

生徒の感想より

今日の岩瀬さんのお話を聞いて、私は、命は本当に大切なものなんだと改めて実感しました。毎日のように流れる悲惨な殺人事件で時にはそれをスルーしがちですが、今日の岩瀬さんのお話を聞いて、その被害者には家族などの大切な人がいると改めて感じました。

大事な娘のかなさんを、犯人があんな理由で、あんな形で殺害するというのは、ほんとに悲惨で想像もしたくないことなのに、岩瀬さんは私たちのために、涙をこらしながらお話ししてくださったことを、ほんとに感謝します。

今回の特別な授業で、私は、物理的な痛みは一瞬だけれど、心の痛みは一生なんだと深く思いました。自己満足のために人を傷つけるのは、その人の大切な人や身近な人にまで傷つけるんだと深く感じました。今回は貴重なお話を本当にありがとうございました。

【2年生 W.A.】

今日、岩瀬さんの話を聞いて、命の大切さを改めて知りました。普通にいきっている中で、いつもそばにいる人が急にいなくなって、どれほど辛いことか、実際に経験した人でないと本当に分らないと思いました。

岩瀬さんの娘さんは、同時に本当に良い人なんだ思いました。例え、嫌いな人の頼みでも断ることなく、化粧品をもらいに行き、私は岩瀬さんの娘さんみたいな、優しい人になりたいと思いました。また、岩瀬さんがおっしゃっていた、加害者も被害者も相手に見えない傷を残すという言葉聞いて、私はどれだけ遺された人は辛いだろうと思いました。そして、裁判官の人もインターネットでこの事件についてつぶやいたりして、世の中本当に情のない人がいるんだと思いました。それを見た人がインターネットで拡散したり、卑劣な言葉をつぶやいたりして、インターネットの恐ろしさを改めて知りました。それでも、岩瀬さんは辛いことだけではなく、普通に笑ったりして過ごしていると聞いて、本当に本当にすごい人なんだと思いました。

最後に、思い出すだけでも辛いお話なのに、私たちのためにお話を下さって、本当にありがとうございます。私は、ずっとこのお話を覚えていると思います。貴重なお話をありがとうございました。

【3年生 M.K.】

